

トピックス2 【広島県・河川直轄・補助(事業主体:広島県)、

海岸直轄・補助(事業主体:広島県)】

河川直轄事業費 560百万円

河川補助事業費 700百万円

海岸直轄事業費 810百万円

海岸補助事業費 400百万円

●安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくり

○洪水、高潮、地震、土砂災害などの災害や重大事故等に対して強い地域づくりを推進する

- ・効果的な治水対策の推進
- ・洪水、高潮、地震及び土砂災害等の対策
- ・災害に強い都市の構築

広島市街地の高潮対策事業

事業促進

位置図



広島市

凡例:

河川直轄整備区間



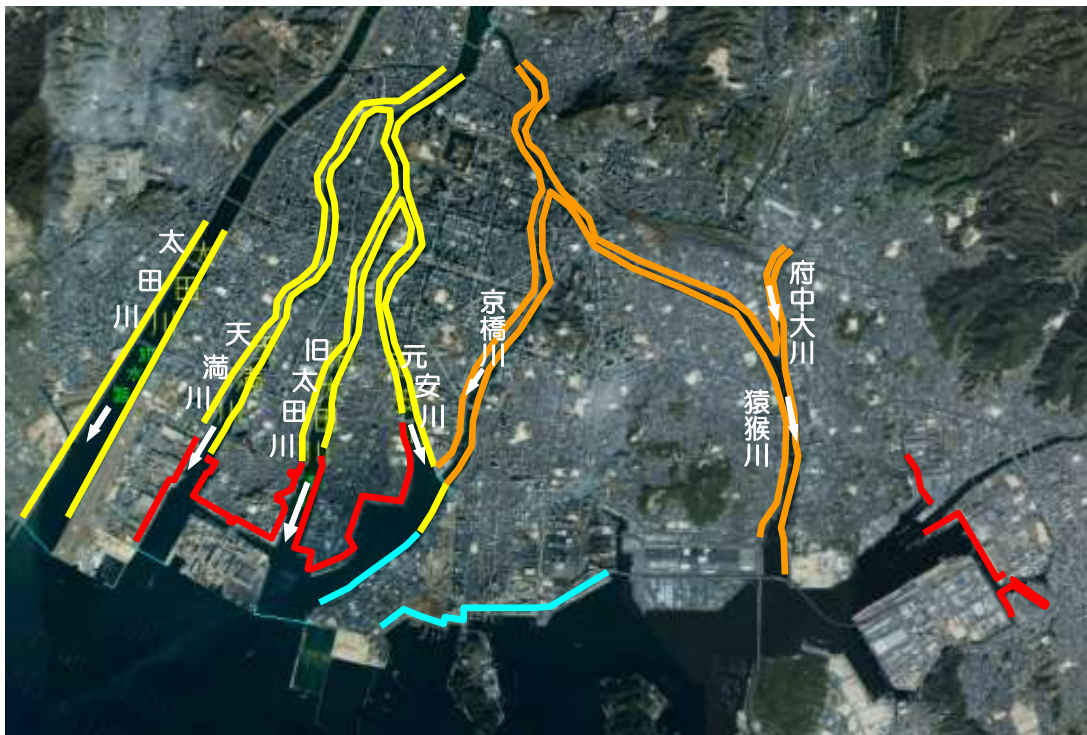
河川補助計画区間



海岸直轄計画区間



海岸補助計画区間



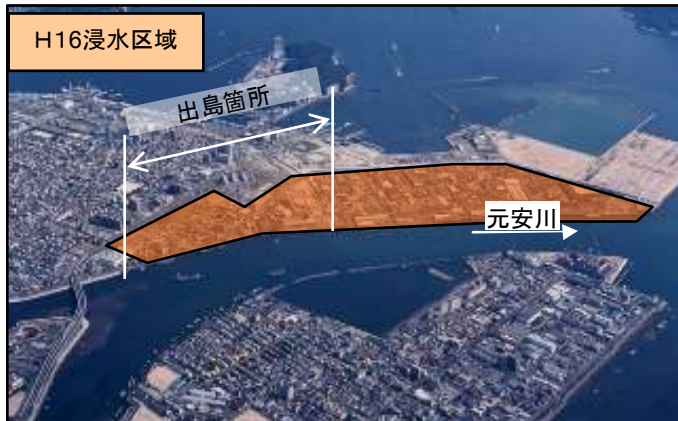
広島デルタに発達した広島市街地は、高潮による浸水被害を受けやすく、また、大規模な地震による液状化により既存施設が被害を受けた場合には甚大な被害が発生します。このため、広島デルタを守ることを目的として、市、県、国が連携して高潮対策事業を実施しています。

なお、早期事業を完成させるため、河川区域内においては河川事業により、港湾区域内においては海岸事業により高潮対策事業を促進しています。

河川事業区間について

現在、平成3年、平成11年、平成16年（観測史上最高潮位T.P. +2.96mを記録）に高潮被害のあった区間の再度の災害を防止するための対策を重点に整備を進めています。

- ・元安川（出島地区）で床上浸水対策特別緊急事業を完了させます。



海岸事業区間について

広島港海岸は、過去から再々台風高潮被害を受けており、平成16年の台風でも大規模な高潮被害を受けました。また、切迫した東南海・南海地震被害を防止する必要があります。直轄海岸区間については本年度より現地着工します。

平成16年の台風高潮による護岸崩壊



期待される整備効果

- ・広島市街地に大きな浸水被害をもたらした、平成16年の高潮が再び発生した場合にも浸水被害の発生を防ぐことができます。
- ・整備された高潮堤防沿いには今後、広島市により河岸緑地帯が整備され、「水の都」にふさわしい都市空間が形成されます。
- ・大規模地震による液状化及び津波から市民の生命と資産を守り、誰もが安全に安心して暮らせる地域が実現します。